算式Ⅱ

K＝0.27×（m－l）＋2.16

算式Ⅱの符号

［略］

m　令和３年から令和５年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅲ

L＝－0.33×（o－n）－0.29

算式Ⅲの符号

［略］

o　令和３年から令和５年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

M＝122.70×（q－p）＋δ

算式Ⅳの符号

［略］

q　令和４年１月１日現在、令和５年１月１日現在及び令和６年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

δ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては3.33とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては4.12とし、町村にあつては4.18とする。

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅴ

N＝｛0.14×（s－r）＋1.47｝＋（0.15×s－4.47）

｛0.14×（s－r）＋1.47｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とし、（0.15×s－4.47）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数

算式Ⅱ

K＝0.28×（m－l）＋2.16

算式Ⅱの符号

［同左］

m　令和２年から令和４年までの各年における転入者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅲ

L＝－0.34×（o－n）－0.36

算式Ⅲの符号

［同左］

o　令和２年から令和４年までの各年における転出者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

M＝124.22×（q－p）＋δ

算式Ⅳの符号

［同左］

q　令和３年１月１日現在、令和４年１月１日現在及び令和５年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

δ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては3.12とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては3.92とし、町村にあつては4.01とする。

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅴ

N＝｛0.14×（s－r）＋1.33｝＋（0.15×s－4.62）

｛0.14×（s－r）＋1.33｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とし、（0.15×s－4.62）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数